

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：ポピンズナーサリースクールあざみ野	種別：認可保育所
代表者氏名：北村 望	定員（利用人数）： 60名
所在地：〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野2-35-12	
TEL：045-479-1602	ホームページ： https://www.poppins.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ポピンズエデュケア	
職員数	常勤職員： 16名 非常勤職員 15名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士 22名
	施設長 1名 栄養士 2名
	看護師 1名 事務員 1名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
0歳児保育室(1)12.48㎡・1歳児室(1)28.63㎡・2歳児室(1)25.39㎡・3～5歳児室(1)84.5㎡・調理室(1)21.55㎡ 医務室(1)9.43㎡・事務室(1)11.05㎡・乳幼児トイレ36.6㎡	
冷暖房、床暖房、空気清浄機	

③ 理念・基本方針

教育方針：人生で最も重要な時期の人間教育を目指します

- ① 寛容な人間：異年齢のお友達との触れ合いを通し、多様な価値観に触れ、人との関係性を築いたり、協調する大切さを学びます。
- ② 聡明で愛情深い人間：「ダメ」といった禁止語の代わりに、「どうして？どうしたいの？」と問いかけます。会話の中で、人格を尊重する姿勢と論理的思考を育み、「他者への思いやり」を教える場でありたいと思います。
- ③ 探究心の旺盛な人間：日々のプログラムのほか、四季折々のさまざまなプログラムを通して知的好奇心を刺激し、お子様が自発的に取り組み、表現する力や考える力を伸ばします。
- ④ グローバル社会で活躍できる人間：「異文化理解教育」をカリキュラムに取り入れ、視野の広い人間の育成に努めます。まずは自分に自信を持ち、自分の国や住んでいるところをよく知ることから始めます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

最高水準のエデュケアを提供しながら大切なお子様の安心・安全をお約束し、更に保護者の皆様の負担を軽減できるように取り組んでいます。

最新のITシステムを導入しており、連絡帳や予約変更などを全てWEB上でやりとりするなど、保護者の負担も少なく、効率的にやり取りをすることができます。また、

保護者の役員制度などは一切無く、布団準備などありません。
一人一人のお子様に寄り添ったカリキュラムを作成しており、お子様の主体性を大切に、保育者は適切な足場架けをしてあげることが常に意識しながらエデュケアを行っています。
栄養満点の完全給食にて食事を提供しており、時には郷土料理や多文化理解として外国のメニューも取り入れています。PNSあざみ野の幼児クラスではバイキング形式の給食も行っており、お子様達が自分で考えて量なども決め、無理なく楽しんで食事に参加できるようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 7月 12日（契約日） ～ 2024年 1月 30日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

子ども一人ひとりを尊重した保育に努めている

少人数制を取っており、それぞれの子どもの個性を尊重し、思いに寄り添いながら丁寧な保育が行われていることがうかがえる。保育中には大きな声をださず、常に穏やかな口調で声をかけ、子どもにとって分かりやすい言葉選びをしながら関わられるように心がけており、また、これらのことが記載された心得が更衣室に貼られており、出勤時に目を通してから業務に入るようにするなど、日々の取り組みが見受けられる。

ドキュメンテーションを活用し保育内容をわかりやすく保護者に伝えている

独自のポピンズアプローチを用いながら子どもたちの成長を支援しており、その手法として子どもたち一人ひとりの成長をドキュメンテーションによって可視化し、また、その成長過程を保護者と共有することで、相互理解を深めている。今回実施した保護者アンケートの「園での活動が子どもの心身の発達に役立っているか」の設問においても大変高い満足度が示されていることから、保育内容が保護者に伝わっている様子がうかがえる。

職員間の情報共有及び研修への積極的な参加によって質の高い保育を目指している

会議や日々の情報共有を通じて保育観の共有や話し合いを行い、自己反省を促して保育士の質の向上に取り組んでいる。保育内容のチェックは週案や月案を通じて行われており、施設長及び主任も実際に保育現場に入ること、保育の質の直接的な確認を行うことができている。また、職員は研修に積極的に参加し、自己研鑽に励んでおり、毎月のテーマに基づいた研修を通じて保育の質の向上に取り組んでいる。日々の保育に真摯に取り組み、職員間のコミュニケーションを密にすることで、質の高い保育を提供することを目指している。

今後期待される点

子どもと地域との交流を広げるための取り組みを課題としている

当園は閑静な住宅地に位置しており、広く自然に恵まれた公園も近くにあり、子どもたちの日々の活動にとって恵まれた環境である。一方で、近隣住民との関わりや地域交流などが難しいことが課題となっている。コロナ禍において中止していた小学校との交流、ボランティア受け入れなども含め、子どもたちがさらに地域との交流を広げることができるよう今後の取り組みに期待したい。

園の中長期計画策定と職員定着への組織的な取り組みが期待される

ポピンズナーサリースクールでは、法人には中・長期計画が存在するものの、園自体の中長期計画は策定されておらず、園長のビジョンが明文化されていない状況にある。経営の持続性と発展のためには、園独自の中期計画の策定とその計画に基づいた具体的な行動指針が必要と思われる。また、職員の定着は保護者との信頼関係を深める上で重要な課題であり、単年度計画には反映されていないため、職員定着を含む実行的な中期計画の策定を法人と共に進めることが期待される。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

コロナ禍とともに開園したPNSあざみ野も、今年でようやく4年目を迎えることができました。コロナ禍での開園ということでそれまでの日常から大きく変わり、手探りで運営が続いていましたが、保護者の皆様のご協力もあり大きな混乱も無く今日を迎えております。いつも本当にありがとうございます。今年度第三者評価を受審し、改めて職員一同で日々のエデュケアや業務などを振り返る機会となりました。また、保護者様からのアンケートでは暖かいご意見や前向きな取り組み案などを頂戴することができ、今後の運営に活かしていきたいと思っております。今回の第三者評価を通して評価いただいた点、改善すべき点などが表面化しましたので、お預かりしている大切なお子様を安全に見守りながらも最大限輝かせてあげられるよう、本部とも協議しながらより良い園運営に活かして参ります。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり